

村天然記念物に指定されているチョウセンアカシジミ。チョウの生息地に位置する普代小や鳥茂渡小の児童が観察会を開いたり、所有地の金子英雄（芦渡）さんや銭袋金也（上区）さんが下草などを刈って住みやすい環境を整えたりと、それぞれが「貴重なふるさとのチョウを守ろう」と、今年も保護活動を続けています。

村天然記念物
チョウセンアカシジミ
(7月17日撮影)

ふるさとのチョウ、守ります!



「いたいた」とチョウを指さす皆さん

本物のチョウ、いたよ

7月17日、上区の普代川沿いで行われた「チョウセンアカシジミ」の成虫観察会は、子どもから大人まで15人が参加し、希少なチョウにふれました。参加者はチョウセンアカシジミの会、尾形洋一代表（宮古市）の指導でじっくりと観察。デフノネリコノの葉に羽を休めているオレンジ色のチョウを見つけると、「いた、いた。本物だよ」と歓声を上げ、ノートにメモを取ったりして観察していました。

観察会では、卵や成虫の大きさ、日本での生息地などチョウセンアカシジミに関するクイズも楽しみながら学習しました。普代小4年の茂石祐香さんは「チョウのことがたくさん分かりました。もっと増えればいいね」と話していました。



じっくりと観察する普代小の児童ら

珍チョウの生態学ぶ

村の天然記念物「チョウセンアカシジミ」の観察会（村教委主催）が7月20日、上区の普代川沿いで開かれ、普代小学校（村上悦夫校長、児童95人）の3年生16人が参加し、チョウの生態などを学びました。

チョウセンアカシジミの会の尾形洋一代表（宮古市）が講師となり、生息分布や生育環境、卵や羽の特徴を説明。児童たちはメモを取りながら積極的に質問していました。

産卵が盛んになる屋近くに本格的な観察を開始。幼虫の食用木のデフノネリコの葉や枝を手でかき分けると、鮮やかなオレンジ色の成虫や乳白色の卵が見つかりました。児童たちは音を立てないようにしながら、じっくりと様子を監察していました。




テレビ出演のリハーサルをする鳥小児童

鳥小が全国生放送に

7月19日、フジテレビの朝の番組「めざましテレビ」に鳥茂渡小（荒谷栄子校長、児童8人）が日本でも貴重なチョウ・チョウセンアカシジミを守る活動をしていると、全国生放送されました。

撮影は子どもたちが毎年保護活動を行っている芦渡の金子英雄さん（63）宅の裏庭で行われました。当日は朝4時ごろから岩手めんこいテレビの中継車やスタッフが訪れ、午前5時40分ごろから生放送に向け、リハーサルを行いました。

午前6時15分から約3分間の本番では、スケッチブックに描いたチョウセンアカシジミの絵を手に「これからも守っていきたいと思います」とテレビカメラに向かって元気に答えていました。

ダビング受付中 

結婚式・おゆうぎ会・お子様の成長記録を再記録しませんか!

他、各種ダビングサービス 8ミリ DVD・VHS VHS
古いビデオテープをDVDに残しましょう。

※ビデオカメラレンタル致します。

au、Docomo、ボーダフォン 携帯電話新規、機種交換 **受付中**

不動産情報 駅前一戸建て 六畳×3、エアコン付き 10月より空室

(有)坂下電化センター TEL 35-2138

塗 装

茂石総業 代表 茂石祐次 ☎35-2933